

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和4年 6月 30日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県御所市城山台166-17

氏 名 ビッグテクノス㈱ 駒元 和樹

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0745-66-2300

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ビッグテクノス株式会社
事業場の所在地	奈良県御所市城山台166-17
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	製造業(化学工業)
② 事業の規模	65億
③ 従業員数	96人
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	化学品の製造作業で発生する製品及び、資材ロス 引火性廃油(固形分20%以上) →最終処分者に委託し、燃焼処分  化学品の製造作業で発生する設備、備品の洗浄溶剤 引火性廃油(固形分20%未満) →再生利用業者に蒸留処理を委託

## 特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

本社工場 各部門

↓

特別管理産業廃棄物置き場(危険物倉庫)保管：保管担当部署(製造部)

↓

環境管理責任者：工場長

↓

廃棄物管理責任者：製造部長

↓

委託収集運搬業者へ引き渡し

↓

委託最終処分業者へ搬送

## 特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和3年度)実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油(燃焼)	引火性廃油(蒸留)
	排出量	215 t	34 t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>生産計画の組みかえにより、洗浄回数を減らす。</li> <li>洗浄後の溶剤を静置分離し、再利用。</li> <li>廃棄物の分別と設備洗浄前処理を徹底。</li> </ul>		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油(燃焼)	引火性廃油(蒸留)
	排出量	100 t	32 t
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>設備の洗浄方法を見直す。</li> <li>製品の取り出し方法を見直し、収率を上げ、廃液の排出量を削減する。</li> <li>社内に蒸留装置の設置を検討する。</li> </ul>		

## 特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>引火性廃油(燃焼処分)：固形分20%以上の廃油</li> <li>引火性廃油(蒸留再生)：固形分20%未満の廃油</li> </ul>
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 固形分の高い廃油を物理硬化させ、分別することを検討する。

## (第3面)

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油(燃焼)	引火性廃油(蒸留)
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油(燃焼)	引火性廃油(蒸留)
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油(燃焼)	引火性廃油(蒸留)
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油(燃焼)	引火性廃油(蒸留)
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)			

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油(燃焼)	引火性廃油(蒸留)
	自ら埋立処分を行なった特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油(燃焼)	引火性廃油(蒸留)
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

## 特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（    令和3    年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油(燃焼)	引火性廃油(蒸留)
	全処理委託量	215 t	34 t
	優良認定処理業者への処理委託量	215 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	34 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		

		【目標】		
		特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油(燃焼)	引火性廃油(蒸留)
②計画	全処理委託量		100 t	32 t
	優良認定処理業者への処理委託量		100 t	t
	再生利用業者への処理委託量		t	32 t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t
	(今後実施する予定の取組) ・設備の洗浄方法を見直す。 ・製品の取り出し方法の見直しし、収率を上げて廃液の排出量を削減する。 ・社内に蒸留装置の設置を検討する。			
		【前年度(令和3年度)実績】		
		特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	249 t	
電子情報処理組織の使用に関する事項		(今後実施する予定の取組等) 特になし。		
※事務処理欄				